

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

駅業務執行体制の再構築等について提案を受ける

4日、支社より「駅業務執行体制の再構築等について」提案を受けました。

「グループ経営構想V～限りなき前進～」に基づき、「川崎駅及び横浜駅の案内体制の見直しと要員(標準数)の変更」についてです。

支社は提案の説明として

- ①現在川崎駅及び横浜駅については案内担当を配置している駅である。
- ②サービスマネージャーとサービス担当のグリーンスタッフが両軸として主たる業務を担っている。グリーンスタッフについては、2016年4月を最後に雇用を停止したことにより、案内の主軸であるグリーンスタッフの採用が絶たれたところが一つの背景である。グリーンスタッフに変わる案内担当として、警備員の配置を考えている。
- ③現行、サービスマネージャーと案内担当のグリーンスタッフは、身体の不自由なお客さまのご案内がかなり増え、業務の実態として「車椅子」をご利用のお客さま対応しながらの案内業務を行なっている。
- ④サービスマネージャーがしっかりと案内部分の業務を行うため、サービスマネージャーが行っていた「車椅子」をご利用のお客さま対応を、警備員を配置し身体の不自由なお客さまや「車椅子」をご利用のお客さまご案内を行うこととする。

案内体制を疎かにせずしっかりと考えていくために分担をしていくことが今施策であるという提案・説明でした。

なお提案内容は以下のとおりです。

- 1、実施内容
案内体制の見直し
川崎駅及び横浜駅
- 2、教育・訓練
必要な周知・訓練は実施する。
- 3、実施日
(1) 2018年2月1日実施
川崎駅
(2) 2018年4月1日実施
横浜駅

詳しい提案内容については「業務部連絡第10号」を参照してください。